

富山県不妊専門相談センター

不妊症相談のご案内

富山県不妊専門相談センターでは、電話や面接で女性の健康や不妊、不妊症に関する相談をお受けしています。また、面接による不妊症専門相談（月1回）を行っています。まずは、電話でご相談ください。（不妊症専門相談は予約が必要です）


相談方法

一般相談

女性の健康、不妊、
不妊症一般に関すること

電話番号 **076-482-3033**

相談日・時間  電話相談  面接相談

曜日	火	水	木	金	土
時間					
9:00~13:00					
14:00~18:00					

※祝日・年末年始は休み

相談員 **専門相談員**
(不妊カウンセラー、フェミニストカウンセラー、助産師など)

不妊症 専門相談

(平成24年6月～)

開設日時 **月1回 15:00~17:00** (予約制)

*開設日は電話でお問合せください
まずは電話でご相談を!

相談員 **不妊症の専門医等**

「不妊症」について知りたい方、
「不妊症かな?」と思っても医療機関を
受診することをためらっている方、
以前に病院を受診したけれども不安な方など、
一人で悩まず、ご相談ください。



「不妊症」については裏面をご覧ください。

「不育症」って なに？



妊娠はするけれど2回以上の流産・死産もしくは生後1週間以内の赤ちゃんの死亡（早期新生児死亡）によって赤ちゃんが得られない場合をいいます。（厚生労働省科学研究班定義）

これらの約半数は偶発的な流産で、特別な治療を行わなくても次回の妊娠の経過は良好ですが、残りの半数にリスク因子が認められることがあります。

※流産は、全妊娠の10～20%に起こるとされています。ただし、年齢が高くなると流産率は上昇していきます。

※不育症は、習慣流産、反復流産よりも広い意味で用いられています。毎年妊娠される方のうち、全国で数万人は不育症の可能性がありますが、決してめずらしいものではありません。

「不育症かな？」 と思ったら… どうしたら いい？



・2回以上の流産、死産、早期新生児死亡を繰り返した場合は、リスク因子の検査が勧められます。流産の多くは偶発的流産*ですが、2回以上繰り返す場合、リスク因子がある場合があります。まずは産婦人科医師にご相談ください。

・「不育症かな？」とされていて医療機関を受診することをためらっている方、以前に病院を受診していたけれども不安な方など、一人で悩まず、富山県不妊専門相談センターや産婦人科医療機関へご相談ください。

*妊娠初期(妊娠12週未満)の流産の原因の大部分(約80%)は、胎児(受精卵)の偶発的な染色体異常です。

お気軽にまずはご相談ください。

- ・原因不明の不育症に対しては、積極的な治療をせず、経過観察で比較的良好な結果が得られています。
- ・カウンセリング等で十分にお話を聞いた方が、次回の妊娠成功率が高くなるという報告もあります。
- ・容易に根拠のはっきりしない治療を受けるのではなく、しっかりと説明や相談を受け、次回の妊娠に対する不安を取り除くことが大切です。

不育症のリスク因子

1. 子宮形態異常
2. 甲状腺異常
3. 夫婦の染色体異常
4. 抗リン脂質抗体陽性
5. 第XII因子欠乏
6. プロテインS欠乏
7. プロテインC欠乏
8. 偶発的流産・リスク因子不明など

6割以上

など

周囲の人も
理解して、
見守ることが
大事です。



その他不育症に関する情報は…
Fuiku-Labo (厚生省研究班ホームページ フィクラボ)
<http://fuiku.jp/>をご覧ください。

このちらしに関するお問合せは

富山県厚生部健康課母子・歯科保健係 ☎076-444-3226 富山県不妊専門相談センター ☎076-482-3033